

# 帯広日産自動車

# 50周年



村松 一樹 社長(58)

## 笑顔でカーライフ手助け



19年、十勝の会社に  
 村松社長は13年に日産自動車の子会社だった帯広日産社長に就任。「家族も十勝が好きで、いま頑張り続ける従業員とずっと一緒に仕事したい」と思い、十勝への永住を決めた。19年に自身が社長を務める村松ホールディングスが帯広日産の全株式を取得。経営者による買収「MBO」の形で地元資本に移行した。日産販売会社として不動産を含む資産全てを譲渡するMBOは初めてだった。

村松社長は「地域に根差したスピード経営が行えるようになった」と、オーナーになったメリットを実感。「従業員にどれだけ誇りを持って仕事をしてもらえるかが重要。近所の人が帯広日産働いていることを誇らやましく思える会社になりたい」と語り、自身はその環境整備に注力する。

珍しい取り組みとして18年から、従業員の健康増進とサービス導入。月3000円からスタートし、昨年4月には健康増進法の改正と喫煙が新型コロナウイルスの重症化リスクとされていることから月5000円に増額した。日産自動車は電気自動車を中心とした電動化技術や自動運転技術などで先進的な取り組みを進めている。村松社長は「電動モーターによる動力制御はエンジンよりも理論上十倍精密で、雪道やアイスバーンで滑りにくい。自動運転技術は免許返納を検討している年配の方への助けにもなり得る。北海道でこそ広がってほしい」と力を込める。

電気自動車の普及に向け、帯広



本社も入居する南29丁目店

### 節目を迎えた企業

■沿革■  
 1971年 十勝管内で日産自動車を販売していた日産サニー帯広、旭川日産(帯広支店)、日産プリンス帯広、道東日産(帯広支店)の4社を統合して設立  
 2009年 釧路日産を統合  
 13年 村松一樹社長が就任  
 19年 村松氏が社長を務める村松ホールディングスが日産自動車から全株式を取得し、地元資本に移行

■概要■  
 本社 帯広市大通南29  
 資本金 3000万円  
 従業員 278人  
 年商 85億円(2019年度)

トし、昨年4月には健康増進法の改正と喫煙が新型コロナウイルスの重症化リスクとされていることから月5000円に増額した。日産自動車は電気自動車を中心とした電動化技術や自動運転技術などで先進的な取り組みを進めている。村松社長は「電動モーターによる動力制御はエンジンよりも理論上十倍精密で、雪道やアイスバーンで滑りにくい。自動運転技術は免許返納を検討している年配の方への助けにもなり得る。北海道でこそ広がってほしい」と力を込める。

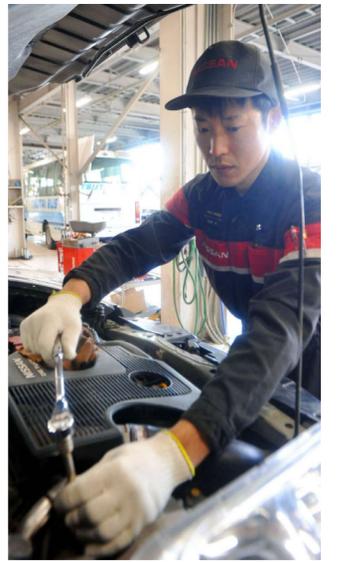
電気自動車の普及に向け、帯広

村松社長は「この年月を重ねることができたのは何より多くのお客様のご愛顧があったこと。引き続き従業員とともに笑顔で安心安全なカーライフをサポートしていきたい」と話している。

日産では十勝管内の自治体などに車両を無償で貸与、充電器の設置なども積極的に行ってきた。

帯広日産では十勝管内に9店舗、釧路・根室管内に6店舗を構え、自動車の販売や整備、保険、レンタカーサービスなどを展開している。新型コロナウイルスの影響で、昨年11月には抗ウイルスなどの効果がある空気触媒「セルフィール」の施工登録事業者となり、販売を開始した。

南29丁目店テクニカルスタッフ主任の佐藤佑さん



本別店  
西16条店  
幕別店  
ドーム店  
広尾店  
清水店  
音更店

帯広日産は笑顔が標準装備

私達は  
お客様の安心と感動のために、  
地域社会とのより良いふれあいのために、  
未来に誇れる希望ある会社のために、  
ありがとうの笑顔を大切にします

50th anniversary

クリスタル店  
宝町店  
厚岸店  
根室店

中標津店  
星が浦店